

特定寄附金募集計画書（令和7年度第1号）

1. 寄附金の名称

農業農村工学を志す学生・生徒に向けた広報活動支援寄附金

2. 募集対象事業

(1) 事業名

農業農村工学を志す学生・生徒に向けた広報活動支援事業

（略称：人材育成事業）

(2) 趣旨

農業土木事業協会では、協会創立50周年記念事業として令和元年度から2年度にかけて「人材確保育成事業」を実施しました。これは、近い将来、農業農村工学を担う技術者の不足が懸念されることから、技術者を確保し育成すべく、特に農業農村工学を学ぼうとする高校生や大学学部進学生を増やすことをターゲットに定め、農業農村工学への関心を惹起するコンセプトムービー《農業農村工学の世界》と、ムービーを見て芽生えた関心や興味に対して〈実践の場〉を解説するパンフレット『地球規模で考え、現場で実践せよ』の2つのプロモーションツールを制作しました。

令和2年9月、これらを大学や高校等に贈呈するとともに、協会のホームページで公開したところ、ご利用された大学や行政機関等から評価の声をいただきました。

こうした状況を踏まえ、令和3年度においても同活動を継続することとし、事業計画に位置付けることとしましたが、協会財政は赤字傾向にあったため、新たな公益事業を実施することは困難となっていました。

このため、寄附金等取扱規程を制定し、同規定に基づく特定寄附金として「農業農村工学を志す学生・生徒に向けた広報活動支援寄附金」を募集したところ、本活動に賛同する会員の皆様から80万円に上るご協力をいただくことができました。

これによりその後はこれまでと同様に①パンフレットの増刷及び大学等への贈呈、②コンセプトムービーとパンフレットが視聴・閲覧できる特設WEBサイトを継続開設することができました。

令和7年度においても、これまでの経過を踏まえ、寄附金をお願いし、同活動を継続実施することとしました。

農業農村工学は持続可能で循環型な農業の実現、気候変動に耐えうる地域づくりがミッションです。また、このミッションは直面する地球規模の課題ともリンクしています。この事業は農業農村工学技術者の確保育成を通じてこのような農業農村工学への期待に応えることを目指します。

(3) 事業内容

- パンフレットの増刷及び大学等への贈呈
- コンセプトムービーとパンフレットが視聴・閲覧できる特設WEBサイトの継続開設

3. 募集額

100万円

4. 募集期間

令和7年4月1日～令和8年3月31日

5. 支出計画（目安）

- パンフレット印刷費 60万円
- パンフレット送料 20万円
- 特設WEBサイト開設費 10万円
- 管理費 10万円

6. 募集の方法及び手続

- 協会ホームページへ掲載
- 会員へ寄附のお願いに関するメールを発信

7. 募集計画書の問合せ先

一般社団法人 農業土木事業協会 事務局
事務局長 山田耕士